

研修担当者向けマニュアル『農作業事故体験VRを活用した学習プログラムの手引き』を作成

—JA共済連と農研機構、双方の知見を活かし農作業安全啓発に向けた更なる取組みの強化—

J A共済連（全国共済農業協同組合連合会・代表理事理事長：村山 美彦）と農研機構（国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構・理事長：久間 和生）は、農作業事故安全啓発の一環として農作業事故を当事者の視点から疑似体験することで「自分ごと化」できる体験学習型プログラム「農作業事故体験VR」の研修担当者向けマニュアル『農作業事故体験VRを活用した学習プログラムの手引き』を作成しました。本手引きはJ A共済地域貢献活動HP「ちいきのきずな」内特設サイト「FARMERS 1ST」※において令和6年9月30日（月）より公開しています。

※サイトURL (<https://social.ja-kyosai.or.jp/farmers1st/>)

サイト内「農作業事故体験VRを利用する」の『研修活用資料』にて揭示

■背景・目的

近年、農業就業人口が減少するなか、農作業事故は年間約6.4万件※発生していると推測され、農作業事故を減少させることは喫緊の課題となっています。そうした背景を踏まえ、J A共済連と農研機構は、農作業事故の未然防止を目的に、令和2年度より「農作業事故体験VR」を活用した学習プログラムの展開を開始しています。「農作業事故体験VR」のニーズは年々高まっており、J A主催のイベントや研修、県庁・自治体からの要請、農業高校・大学での授業など、様々な場面でご利用いただいています。活用場面等が拡大することで、講師の役割を様々な研修担当者が担うこととなります。どのような場面で活用されても、本プログラムの学習効果を一定に保ち、研修担当者の負担を軽減することを目指し、講義・グループ討論手法をご紹介する『農作業事故体験VRを活用した学習プログラムの手引き』を作成しました。

※J A共済連による推計

■『農作業事故体験VRを活用した学習プログラムの手引き』の主な内容

1. はじめに

農作業事故の実態や農作業事故の減少に向けた取り組みの重要性について解説。また、本学習プログラムのカリキュラム全体像を示し、本マニュアルの使用方法等について説明。

2. 基本編(講義・VR体験について)

(1) 講義

農作業事故の講義に関する事前準備の方法や当日の進行等について、「学習動画を活用する」、「情報を収集して資料を作成する」、「(農作業安全に知見のある)講師に依頼する」の3つのパターン別に解説。

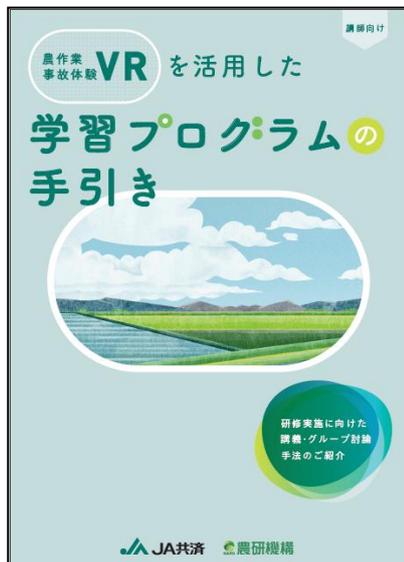
(2) VR体験

VR動画の内容やVR機器の機能を紹介し、研修会での具体的な活用方法やVR体験により受講者が得られる学習効果等について解説。

3. 発展編(グループ討議・対話型農作業安全研修ツール・研修事例について)

農作業安全研修の効果をさらに向上させるため、VR体験前後に実施するグループ討議の進め方や講師の役割について解説。また、対話型農作業安全研修ツールや研修事例を紹介。

【表紙】



【基本編（1）講義】



【発展編（グループ討議）】



J A 共済連と農研機構は、本手引きの活用を通じて農作業事故未然防止にかかる取組みを促進し、1件でも多く農作業事故を減らすことで、持続可能な農業に貢献してまいります。

【参考1】農作業事故体験VRについて

- ・農作業安全研修やJA主催のイベント（農業祭や農機具展示会等）などの活用場面に合わせてVR体験用のヘッドセット等を貸与し、受講者・参加者に体験いただくことができます。
- ・特設サイト「FARMERS 1ST」の『ライブラリー』でも、全てのVR動画（計8種類）が視聴可能です。
- ・先進的な取組みが評価され、「2020年度グッドデザイン賞」を受賞しました。

○ 研修会やイベントでの使用イメージ



VR体験用ヘッドセット



使用イメージ（授業）



使用イメージ（イベント）

○ 特設サイト「FARMERS 1ST」『ライブラリー』



QRコード

《URL》

<https://social.ja-kyosai.or.jp/farmers1st/library/>

※ VR体験に加えて、事故の発生原因や安全対策にかかる学習動画も公開しています。

○ 研修会やイベントでの利用実績等について

- ・「農作業事故体験VR」を活用した地域の農作業安全研修会やイベントは、令和2年4月から令和5年3月までの間に、43県で延べ597回実施されました。
- ・体験者からのアンケートでは、9割を超える体験者から高い評価を頂きました。

《体験者の主な感想》

- ・ただ話を聞くだけではなく、自分の目線で怖い体験ができて、ためになった。
- ・ちょっとした不注意が事故になることを理解した。
- ・身近でも農作業中の事故があり、改めて危険性を認識できた。
- ・作業の際には緊張感を持ち、どこで誰が何をしているのか共有することの大切さを理解した。

【参考2】農作業事故の発生状況について

農作業事故は年間約6.4万件発生していると推測され、特に死亡事故の発生割合については、建設業の約2倍、全産業の約9倍と高くなっています。^{※1}

JA共済連では、令和4年4月に過去4年間（平成29年から令和2年まで）の共済金支払データを用いて、農作業事故の発生要因や事故傾向について分析、農作業事故の実態およびリスクをとりまとめで公表しています。^{※2}

※1 JA共済連による推計

※2 分析および結果の詳細については、JA共済ホームページのニュースリリースにてご覧いただけます。

<https://www.ja-kyosai.or.jp/news/2022/20220426.html>